



鶺鴒つうしん

岐阜ダルクニュースレター平成25年春号(40号)



「女性ハウス開設」

岐阜ダルク施設長 遠山香

女性のための入寮施設を設立すると公言してから2年の歳月が経ちました。時間がかかり、ご支援下さいました方々はやきもきされたかもしれません。

2月1日に掲載された新聞記事での物件情報の呼びかけに何件か情報が寄せられた中でダルクの活動に大変ご理解いただける方との出会いがあり、家賃・地の利・間取りなど願ってもない物件を貸していただける事になりました。家具や電化製品など譲ってくれる方もみえ、2月末からスタッフが寝泊りできるよう準備が整いました。

皆様より設立準備金のご協力をいただいたおかげです。心よりお礼申し上げます。

3月3日は当初の予定通り設立フォーラムとして開催することができ、4月4日開所式を行いました。新しい活動への希望に胸を膨らませている今日この頃です。

皆さまからご協力いただいております女性ハウス設立準備金としての募金は終了いたしますが、維持・運営のための資金が必要となりますので、今後は『岐阜ダルク(女性ハウス、日中支援等)』という形で寄付のお願いをさせていただきます。引き続き皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

新年度が始まりました。関係機関との連携も深まり、刑務所から出所した後や病院から退院した後の受け皿としての需要が多くなり、このところ利用者が増加しております。

依存症で苦しむ方に希望のメッセージが届けられるよう活動していきたいと心新たにしています。

女性ハウスだより

岐阜ダルク女ハウス責任者
勇 陽子



今回、岐阜ダルク女性ハウスの責任者をやらせてもらう事になりました、勇陽子です。岐阜に来る前は、宮崎ダルクで長い間仲間と過ごした後、退寮し、うどん屋で1年半働きながらNAに通っていました。ダルクを退寮して一人暮らしを始めた頃、自由な時間を満喫しようと考えていましたが色々自分の私生活や、お金の使い方や同じことの繰り返しの日々不安を感じはじめました。

仲間と生活している時は誰かに何か言われるまで自分の行動などに目を向けようとしてこなかったもので、言ってくれる人見てくれる人が居なくなると今の状態は大丈夫なのか、薬を使う方へ行ってないか、昔のような事を気づかないうちにしているのではないかとよくとらわれていました。スポンサーに電話をすると「普通の事」と言ってもらいホットした事が何回かありました。日常の小さな事にかなり大げさに反応する自分でした。アルバイトとNAへ行く生活に慣れ始めた頃、どうせミーティングには行くんだし、まだ今頃はホワイトブックを読んでいる頃だし・・・と言い訳をしてミーティングに5分、10分と遅刻するようになりました。そうしていくうちにアルバイトもNAも運動も生活全体が面倒くさくなりテレビの前から離れなくなり、夜更かししてはボーっとバイトをしてました。またスポンサーに話すと、「ミーティングは遅刻しないで行って」と話してもらい、遅刻しないで行く事したらメリハリのある生活が少しずつ出来るようになりました。スポンサーと電話をすると自分が元気になる事がだんだん感じられるようになりました。それから淋しいという気持ちにも悩みました。人との関わりが少なく一人の自由な時間の過ごし方がへたくそなので、毎日同じ事をしていました。うどん屋へ行き、NAへ行き、運動を黙々としていましたが、誰かと関わりたいという気持ちがつのっていきました。スポンサーに相談話をしてもらった事をやってみました。ミーティングで本当の話をし、さびしいからと言って何かすることもせず、部屋に座って「さびしい」と感じてみました。しばらくそれを続けていたら淋しいとばかり言っても仕方がないし、人は一人だけ繋がっているという話をしてもらった事で吹っ切れました。居場所や状況の違う仲間は全国にも世界にも沢山いて、それぞれ別々だけど、自分と同じ様に仕事へ行き、運動をして、時間になったらミーティングをしている仲間も居ると考えたら一人じゃないと感じました。

最近になりやっとならぬとスポンサー、ミーティング、ハイヤーパワー、仲間など自分に必要だと思えるようになりました。岐阜に来てもうすぐ1ヶ月経ちますが、分からない事が沢山あります。スタッフという自覚があまりにも無さ過ぎるところがあり、「どうしよう」ばかり言っていて、周りの仲間にサポートしてもらっています。不安ですがそればかり考えていても仕方が無いので、目の前にある事から一つ一つやっとならぬと思えます。よろしくお願ひします。

※NA 薬物離脱プログラムです。ダルクはNAのプログラムに沿って入室または通所して薬物離脱指導を行っています。

※スポンサー 相談相手です。薬物依存症から離脱する過程でサポートする相談相手は慎重かつ適切に選ばれます。

※ハイヤーパワー 「薬物依存症は病気」という自覚を持つことからプログラムは始まります。「人間の力では左右できないもの」という概念で、宗教とは無関係です。

※ホワイトブック ミーティングの際に読み合わせに使う小冊子です。

医療法人 杏野会 各務原病院
精神科ソーシャルワーカー
澤木幾佐

一般的に脱法ハーブとは、合成カンナビノイドを含有するハーブ製品である。合成カンナビノイドとは、大麻の薬理成分であるテトラヒドロカンナビノール (THC: Tetrahydrocannabinol) の効果を模倣し、マリファナ様の効果を表現したもの。加工のしやすさから、化学式を変えたものが何千種類もあるとも言われている。合成カンナビノイドの生みの親は アメリカ、クレムゾン大学の有機化学者 John W. Huffman 教授 (1932年生まれ) で数多くある合成カンナビノイドのある特定の種類においてはハフマン教授が開発したもので、アメリカ国立薬物乱用研究所の資金提供によって463種類合成されている。脱法ハーブの多くは、正統派の化学者の研究発表からデータをハイジャックして、安易に生みだされている傾向にある。販売方法は店舗の他、インターネットショップでの販売が主。大手のミラーショップもある。売り手は度重なる法規制から減少傾向にある。小売店と送料や商品のラインナップが同じなら、その店は大手ショップのミラーショップの可能性が高い。種類の多い合成カンナビノイドによる症状は商品によって、かなり異なるとされている。幻覚は覚醒剤に比較して余り認められないとも言われている、ほぼ半数に顔脈が認められる。次に興奮、易刺激性、嘔吐、精神錯乱の順に症状の発現があるとされている。商品によってアッパー系とダウンナー系の作用があり、解毒に関してはアッパー系の方が著しく遅延し、予後が悪いとされている。特に危険な商品として、 α PVP、デスエチルピロバレロンと呼ばれる覚醒剤に構造式が似たものが最近出回っている。

厚生労働省が、インターネットを通じて脱法ドラッグを買い上げ調査し、分析することに約1か月の時間を要する。更に、法律にまで持ち込むのに年に1度か2度の会議での議決が必要となる。この様に、国の脱法ドラッグに対する対応は遅延していた。脱法ハーブで救急医療や地域活動に困難を来していた自治体は、厚生労働省の指示を待たず、各々で条例を整備し、早急な対策をその手段とした。しかし、これまでのいたちごっこにも大きな終止符となるであろう包括規制が平成25年3月22日から施行された。722種にも及ぶ脱法ドラッグが規制されることになった。目鼻のきく販売元は脱法ドラッグ業界から早々に撤退をする傾向にあり、実際に店舗も減少傾向にあるとのことである。この包括規制では、薬物の骨格を指定した。その骨格にいかなる化学合成を加えても違法ドラッグの対象となるとされており、違法ドラッグの業界が大きく変わるとされている。しかし、一方で売り手の巧妙さや狡猾さに拍車がかかることも懸念もされる。

臨床においても、脱法ハーブについては、若い世代の利用が目立ち、小さな子どもを連れての受診もある。依存症治療においては、子ども世代への対応策の必要性を強く感じる。一般的に子どもは自分で自分を守ることができない。そのダメージは身体的なものだけでなく、精神面や社会的な面、果てはスピリチュアルな痛みまで及び、多角的で包括的な支援を要すると思われる。

当事者の回復について、本人の疾病自覚がない場合や病気に対する否認が強い場合、家族や周囲の回復が先行する場合がある。各務原にも薬物の家族グループ「ナラノン」が出来、大勢の当事者の家族が共依存症の泥沼から救われることになった。時折、私も家族について同席する事もあるが、この会に出席している家族の関わる当事者のほとんどが中間施設につながるようになったのは大きな驚きであった。共依存症の家族がいかに当事者に良くない手助けをしていたかを知ることになったし、加えて渦中にある家族は、共依存から抜け出すことに回復者の具体的な事例の多くを必要としている。そして、援助職においても、陥りやすい共依存について、気をつけていく必要があることをナラノンに出席する度に強く感じる。家族や援助職は良心の名のもとに、当事者や自己の精神世界を傷つけることにもなりかねない。よって、依存症者に関わる周囲のひとたちも視野を広く保つために、自助グループに通う必要があると考える。

3月3日(日)
岐阜市 ふれあい
福祉会館にて

岐阜ダルク女性ハウス設立フォーラム

テーマ 磨こう！生き生き女子力



沢山の女性の方たちが自分と向き合える居場所が出来ると思うとホントに嬉しいです。



岐阜市ボランティア協働センター 長谷川香津美様

岐阜ダルクを支えて下さる皆様のおかげで3月3日ひな祭りの日、テーマ『磨こう！生き生き女子力』と題して岐阜ダルク女性ハウス設立フォーラムを開催しました。岐阜県より薬害普及啓発事業として助成を受け開催いたしました。総勢190名の方が集まってくれました。リレーメッセージでは、5人の女性が女子力について話をしてくれました。

輝いた女性たちを見させてもらって記事を通して誰かを元気にさせる事が出来たら幸せだと思っています。



毎日新聞岐阜支局記者 加藤沙波様

全国各地からダルクの仲間が駆けつけてくれました。最後にみんなで記念撮影！

薬物をやりたい気持ちを抑えたい気持ちは否定するのではなくて受け入れる事がすごく大事だ。という事を一緒に聞かせる中で学びました。



DAPAの人たちが会場までコピーを入れてくれました。皆様から美味しかったと好評でした。



名古屋少年鑑別所法務教官 鶴岡芳恵様

寄付金 215,146 円が集まりました。ご協力いただき誠にありがとうございました。

アンケート結果

- 当事者メッセージを多くしてほしかった。(薬物依存者本人)
- 岐阜ダルクに関わっている関係者のきずなを感じとても良かった。(薬物依存者本人)
- 多勢の協力者がいる事に頼もしく思った。立ち直れるかもしれないと云う希望が起きてきた。(薬物依存者家族)
- これからも女子力が進んで行ってください。家族の話も聞けたら良かったと思います。(薬物依存者家族)
- ダルクというものをあまり知らなくて、ダルクとはどういうものなのか等詳細を文章にしてあるとよかったかなと思います。周りの方にもお伝えしたいと思うので。(一般)
- 折って行動するという言葉、心に残りました。何事にも通じる言葉だと思います。(一般)
- 依存症当事者の人が話だして、話している間、会場のおしゃべりがちょっとうるさかった。(一般)
- 体験談では、それぞれ勇気をもって話す事に挑戦して下さって胸が打たれました。(一般)
- 今の社会では、増える事はあっても減る事はない病気です。その人(個人)の責任ではないと思います。初めての参加でしたので、知らない言葉があり戸惑った場もありました。(一般)
- リレーメッセージを聞き、改めて遠山さんの人を動かす力を実感し、多くの繋がりが有る事を知りました。(行政関係)
- 愛知県内でも女性の薬物問題を抱えた方の相談を受けますが、今までは入所を希望されても入るところがなしでどうした者かと頭を抱えていました。岐阜で女性ハウスが出来たと言う事でより支援が充実すると思います。(行政関係)
- 家族関係、友人関係 etc のかわりを少しレールを外れただけで、皆同じ人間なんだと感じました。(更生保護女性会)
- 体験談が生々しく若い人がそういう生活に入ってしまった過程が何となくわかり薬の怖さが身に染み。コーヒーがとてもおいしかった。(更生保護女性会)
- これからのダルクに大いに期待します。ほのぼのする居場所を作ってくださいね。(更生保護女性会)
- 女性のたばこやめてほしいですね、葉共々。こんなはずではなかった人生も幸があると思います。(更生保護女性会)

1階ダイニング



料理の練習をします。

女性ハウスの部屋・ご紹介!



2人でひと部屋を使います。サポートし合うことで人間関係や規則正しい生活習慣を身に付ける練習をします。

2階居室

4月4日女性ハウスにて開所式

開所式開催しました。ダルクの仲間も張り切ってサンドウィッチ、おにぎり、ケーキを作っておもてなししました。



3月20日社会的居場所事業シンポジウム

1年間の社会的居場所事業の活動報告を利用者で行いました。パワーポイントも自分たちで作成しました。



活動報告

2月

- 5日 笠松刑務所薬物離脱指導
- 7日 ダルク後援会・会議
- 8日 野宿生活者支援ボランティア
- 9日 薬物電話相談日
- 13日 依存症を学ぶ集い
- 13日 薬物電話相談日
- 社会的居場所事業・会議
- NA 中部エリア PI セミナー参加
- 17日 友愛キリスト教会にて活動紹介
- 19日 保護観察所引受人会
- 23日 薬物電話相談日
- 26日 笠松刑務所薬物離脱指導

3月

- 3日 岐阜ダルク女性ハウス 設立フォーラム
- 6日 社会的居場所事業・会議
- ソロブチミスト講演会
- 7日 ダルク後援会・会議
- 8日 野宿生活者支援ボランティア
- 9日 薬物電話相談日
- 10日 名古屋ウィメンズマラソン参加
- 12日 笠松刑務所薬物離脱指導
- 13日 薬物電話相談日
- 14日 グループホーム交流会
- 17日 羽鳥キリスト教会にて活動紹介
- 19日 笠松刑務所薬物離脱指導
- 20日 社会的居場所事業シンポジウム
- 22日 岐阜県地域生活定着支援センター運営委員会
- 23日 薬物電話相談日
- レクレーション
- 24日 岐阜バプテスマ教会にて活動紹介
- 31日 岐阜ルーテル教会バーベキュー

4月

- 4日 女性ハウス開所式
- ダルク後援会・会議
- 10日 11日 ダルク次世代スタッフ研修会
- 12日 野宿生活者支援ボランティア
- 10日 薬物電話相談日
- 13日 薬物電話相談日
- 17日 笠松刑務所薬物離脱指導
- 18日 ニュースレター発送作業

今後の活動予定

4月

- 20日 人観パーティー(羽田基金)
- 21日 掛楽キリスト教会にて活動紹介
- 23日 笠松刑務所薬物離脱指導
- 25日 社会を明るくする運動
- 27日 薬物電話相談日
- 28日 アガペチャーチ瑞浪チャペルにて活動紹介

5月

- 7日 岐阜ライオンズクラブ例会にて講話
- 12日 岐阜ダルクチャリティーコンサート
- 14日 保護観察所引受人会
- 16日 ぎふ清流ハーフマラソンボランティア
- 26日 岐阜純福音教会にて活動紹介

3月10日 名古屋ウィメンズマラソン



施設長、女性ハウス責任者、他2名の仲間と参加しました。42.195キロ4人とも全員完走できました～(涙)

「危険な匂いのする男ふたり」

後援会会長 齋藤幸二

私は家内から「危険な匂いがする男」と呼ばれている。というとアーサー・ホーランドのような「不良牧師！」とか「ちょいワルおやじ」というイメージを持たれるかも知れないがそんな格好いい意味ではない。古いバイクに乗っているのでもいつもガソリン臭(くさ)いのだ。ガソリンコックが詰まった時など、口でガソリンを吸いだすときもある(ガソリンはシンナーと違って中毒にはならない)。あるとき家内と娘が車に乗っていたらガソリンスタンドで単車が炎上しているのを見たので、娘が「お母さん、バイクが燃えているよ!」というとき家内が「あれはお父さんだよ」ということがあり、家でもバイクが炎上したことが幾度もあった。だから私の場合は危険な匂いではなく、「臭い」したほうが良い。

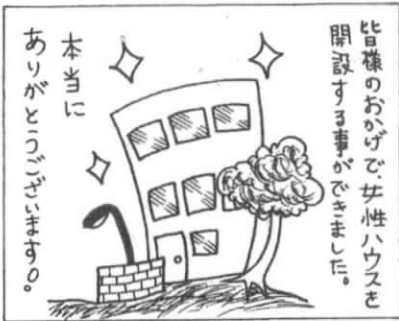
しかし私と一緒に後援会の働きをしている鈴木輝一郎さんは本当に怪しい匂いのする男だ。教会で娘の結婚式を挙げたとき、彼が司会進行をしていたのだが、埼玉県警に勤める義弟と、同じ県警で刑事をしているその娘婿が、怪しげな鈴木さんを見て、二人ともいつでも飛び出せるように警察手帳を握りしめていた、というエピソードがある。

しかし鈴木さんも見かけによらず、温厚な人柄である。ダルクで彼に会って怪しい目つきでにらまれても、めったに危ない目にあうことはないので気軽に接して欲しいと思う。

診察 さいとうこうじ



STARTUPようこそ岐阜の町ははじめてなので毎日テンパリながらお仕事をしています。



本当にありがとうございます。

皆様のおかげで女性ハウスを開設する事ができました。

女性ハウス
STAFF
よこ & あや
新生活!!



まだまだはじまったばかりで、メンパ二人、手ごわりで生活しています。



毎晩料理をしよう...

お花に水をあげたり...

今まだダルクに通所していたあやは女性ハウスに入寮し、新生活をはじめました。

岐阜ダルクチャペルコンサート開催のお知らせ

と き 5月12日(日) 13:30開場 14:00開演
 ところ カトリック岐阜教会 (岐阜市青柳町3-23 ☎058-251-1018)
 入場料 ¥1,000

プログラム

トアフェ マリア	グノー・バッハ
トアフェ マリア	G. カッチーニ
トキよりの愛の喜び	JSバッハ
トワが母の教えたまひし歌	A.ドヴォルジャーク
ト私を助けて下さい	GFヘンデル
ト涙の歌	成田淳三
トヴァイオリンとオルガンの為の小品	T.キルヒナー
トトッカータ、アダージョとフーガ ハ長調BWV564	JSバッハ
ト指は賑く	菅野よう子 他

演奏者

- ソプラノ 松本 聖恵
岐阜で育ち、岐阜県立音楽科から岐阜音楽大学に進む。
ウィーン、宮廷歌手アカデミー・ホルムシュタット・マルガリータ・キリアキス88に
師事。全日本リストコンテストで最優秀賞受賞
「阿蘇おんがく祭」主催、ガガイロ音楽コンクール最優秀賞受賞等あり
- ソプラノ 小塚 聖子
名古屋音楽大学音楽学部声楽科卒業
第2回全日本合唱コンクール声楽部門第2位・岐阜市市民 音楽祭特別
賞受賞。第21回全日本合唱コンクール声楽部門全奨励賞
日本音楽連盟会員・名古屋二重奏会会員
- ソプラノ 水谷 江里
名古屋音楽大学音楽学部声楽科卒業
各種コンサート出演する傍ら、病院・老人ホーム等で歌を通して、ボラン
ティア活動を行う。4年連続最優秀歌手賞・声楽コンクール最優秀者
- ヴァイオリン 藤田 真美子
岐阜音楽大学音楽学部音楽科卒業
第35位全日本学生音楽コンクール声楽部大会第3位。90・91/18/ワック
クミュージックフェスティバルに参加
現任、昭和交響楽団・愛知県・ソロ等で活躍
- パイプオルガン 林 友直
岐阜音楽大学音楽学部オルガン科卒業
現任、カトリック岐阜教会・岐阜県教会のオルガニスト、
日本オルガニスト協会会員

問い合わせ=岐阜ダルク(052)251-6922

カトリック岐阜教会と演奏者の
方々のご協力をいただき、今年も
チャリティコンサートを開催し
ます。浪山の皆様にお越しいただけ
ますようお願いいたします。

編集部日より(鈴木輝一郎)
 △岐阜ダルク女性ハウスは原則非公開ですが、施設内の様子をYouTubeで見られます。「岐阜ダルク 女性ハウス」
 で検索してください。
 △今号は齋藤幸二後援会会長が「ぼくもまんがを描きたい……」と要望があったので四コマ漫画を掲載しました。後
 援会会長の写真をカットしてあるのはスペースがたりなくなったせいで、決して編集部のウラミではありません。
 △齋藤後援会会長の言う通り、鈴木はよく「怪しい人」と言われます。ただ、なぜか牧師にもよく間違えられます。
 先日「お父さん、お父さん」と声をかけられて振り向いたら齋藤会長の奥さまでした。
 △ちなみに鈴木さんの職業は小説家です(本当)。「鈴木輝一郎(すずき きいちろう)」で検索をかけてください。

ご支援のご協力をいただき心から御礼申し上げます

岐阜ダルク寄付金者名(1月1日～3月11日)

杉島貴孝 永嶋恵美 同盟福音基督教会・岐阜キリスト教会 田口大輔 BARFin 福原未来 弁護士・神谷慎一 松井康代 土井正則 宗教法人龍現寺代表役員・今尾宗博 天外メンタルクリニック院長・杉田憲夫 北谷雅春 辻克郎 長澤清 弁護士・伊藤知恵子 池谷浩司 服部忠夫 脇若保雄 大垣病院 日本キリスト教団なか伝道所 池田時造 カトリック布池教会 岩佐麻紀 成井尋江 塚本恵一 カトリック小牧教会 岡本浩明 三嶋須磨子 高木加代子 杉山道雄 岡崎修道院 浅野雅彦 安西玲子 久松定昭 浅野仁実 岐阜バプテスト教会 カトリック名古屋教区社会福祉委員会 友愛キリスト教会の皆様 羽島キリスト教会の皆様 岐阜バプテスト教会の皆様 那加教会・安田優美子 上田洋子 養清興業株式会社 比嘉三枝子 匿名者多数

献品者名

津山美代子 不破葬祭 那加教会 今川キメ子 セカンドハーベスト 林和美 清水治明

女性ハウス寄付金者名(1月1日～3月11日)

NPO法人葉家連 今川キメ子 弁護士・神谷慎一 上田洋子 岐阜市勤労者医療協会理事長・岩井雄司 松井康代 柳原清盛 天外メンタルクリニック院長・杉田憲夫 北谷雅春 越前地区保護司会・北畑豊秀 辻克郎 岡田喜美江 武芸川町仏教会 脇若保雄 大垣病院 名古屋教区カトリック女性の会「樹の会」代表・金森タイ 池谷あかね 服部忠夫 カトリック東山教会 池田ひろみ 各務原病院院長・天野宏一 引土絵未 カトリック神言修道会・多治見教会 松岡毅明 亀田公子 岐阜純福音大森チャーチ 加藤京子 梶川美喜子 飛騨市更生保護女性会・安達美恵子 岐阜経済大学・浅野千夏 小曾隆臣 佐藤俊幸 梅木真寿郎 岡崎修道院 岡田廣人 カトリック日比野教会 浅野仁実 由井滋 田口大輔 檜田邦自動車株式会社 一般財団法人名古屋YMCA 匿名者多数

※お名前記載につきましては注意を払っておりますが、万が一お名前誤字・脱字または記載漏れなどございましたら、誠に申し訳ありませんが、ダルクまでご連絡をいただけますようお願い申し上げます。

※発送作業簡略化のため皆様全員に振込用紙を同封させていただいておりますことをご了承下さい。また匿名希望の方は、恐れいりますが、その旨を振り込み用紙通信欄にその都度ご記入下さいますようお願い致します。

※女性ハウスの開設にともない「岐阜ダルク女性ハウス設立準備委員会」への募金は終了いたしました。ご協力ありがとうございました。

※岐阜ダルクでは毎月35万円程度の活動資金を必要としておりますが、その多くを皆様方からの寄付によっております。引き続きみなさまがたのご理解とお力添えをお願い申し上げます。

※岐阜ダルク 郵便振替口座 00840-5-167752 岐阜ダルク後援会

編集 特定非営利活動法人 岐阜ダルク
編集担当 岐阜ダルク後援会 齋藤幸二 鈴木輝一郎
〒500-8175 岐阜市長住町7-3 TEL/FAX: 058-251-6922
Email: gifudarc2004@yahoo.co.jp
ホームページ: <http://softopia.gifu-keizai.ac.jp/~darc/>
2013年 岐阜ダルクニュースレター平成25年春号(No.40)
定価 1部 200円
編集責任者 遠山 香
発行所 東海身体障害者団体定期刊行物協会
名古屋市中区丸の内3-6-43 みこころセンター